

札幌駅周辺の現状・将来動向と課題

(第2回検討会を踏まえた追加項目)

1-1 北海道の拠点としての役割

1-2 札幌駅周辺地区の役割

2 交通結節性における課題

3 札幌駅周辺の開発を見据えた交通課題

札幌駅周辺の現状・将来動向と課題

1-1 北海道の拠点としての役割

札幌駅周辺地区は、世界とのゲートウェイ・札幌の対外的（海外・道外）な流動と道内流動を結節する北海道の拠点としての役割が求められています。

上位計画で目指す「北海道の玄関口・北海道の顔」として、目指す社会像にあるモビリティハブを担うことが必要です。

【目指す社会像】

北海道の生産空間を守るために、道内各地でどこにいても、誰もが自由に移動し、交流や社会参加できる社会を目指すことが必要

【目指す社会像の具体イメージ】

様々な交通モードの接続・乗換拠点（モビリティ・ハブ）が道路をはじめとした交通ネットワークに階層的に整備され、自動運転バス・タクシーや小型モビリティなどの円滑な乗換の実現が必要

北海道の交通ネットワークに階層的に整備される接続・乗換拠点(モビリティ・ハブ)

世界とのゲートウェイ・札幌

『北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの整備』
全道に効果を波及させ、食と観光で全国に貢献する「生産空間」を支えます

連携

地方部のモビリティ・ハブ

『札幌駅交通ターミナルと連携したローカルバスタ／ミニバスタ』
札幌と連携し地域の公共交通の維持・自由な移動の実現を後押し

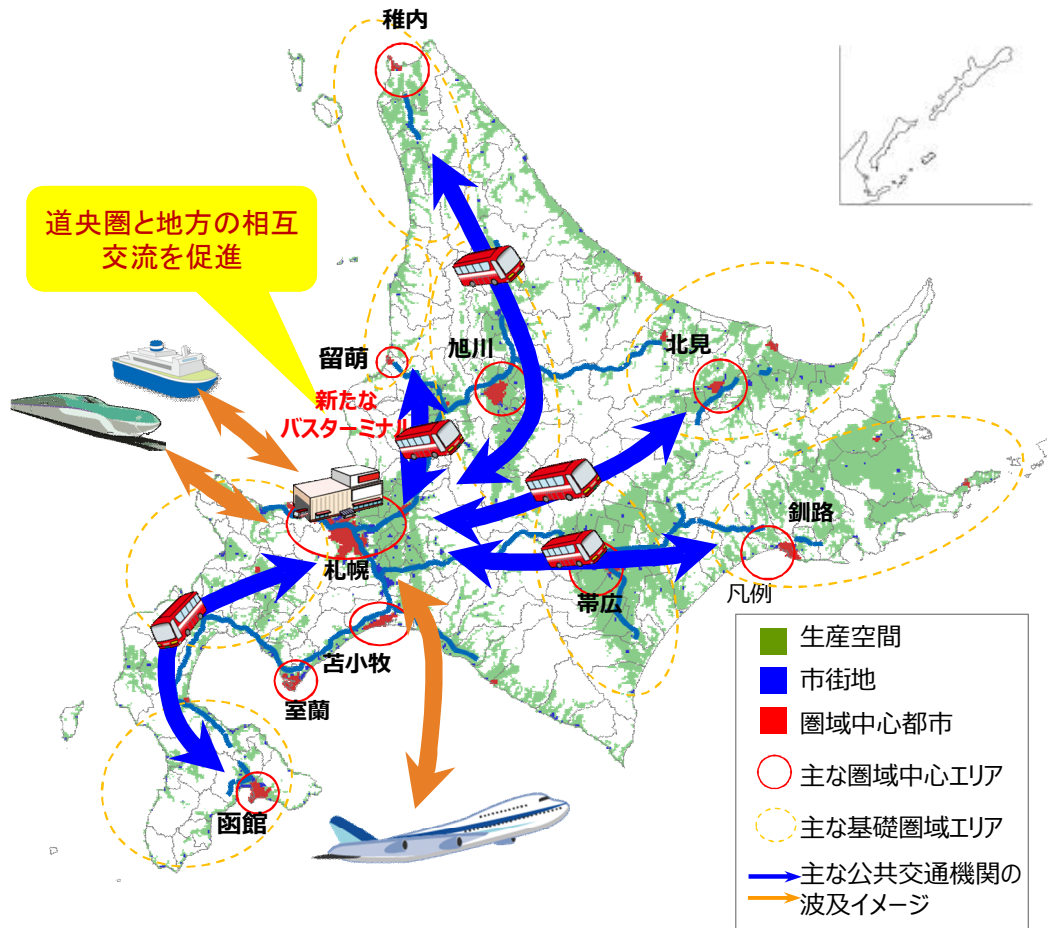
札幌駅周辺の現状・将来動向と課題

1-2 札幌駅周辺地区の役割

札幌駅周辺地区は、北海道・札幌市内のゲートウェイとしての役割が求められています。

海外を含む道外及び道内の各都市へと繋がり道央圏と地方の相互交流を促進する北海道のゲートウェイ、さらに道都札幌の玄関口として中心市街地をはじめとした札幌市内とのゲートウェイとして機能することが必要です。

■北海道のゲートウェイ



■中心市街地をはじめとした札幌市内とのゲートウェイ



札幌駅交流拠点先導街区整備
基本構想 2017年2月 札幌市

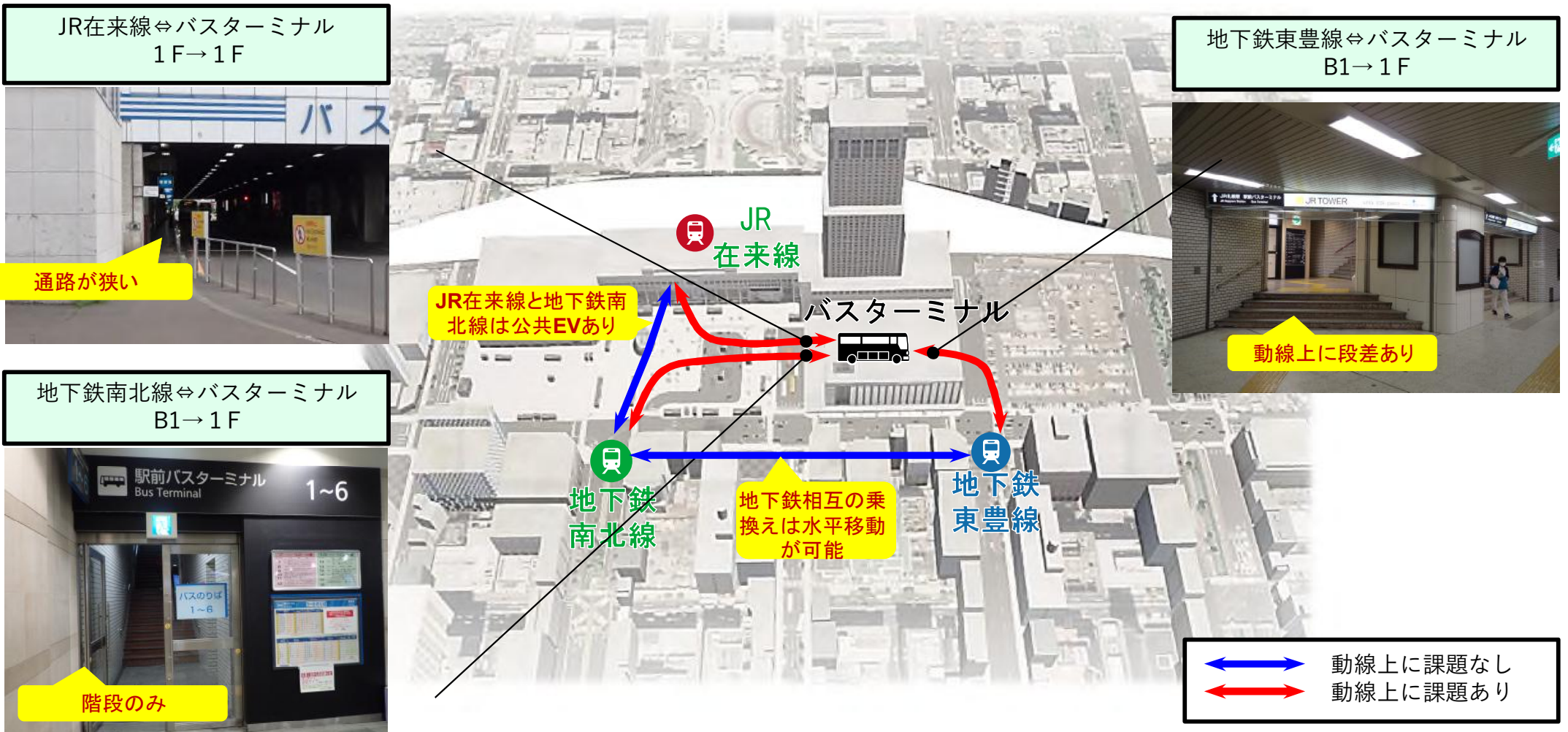
札幌駅周辺の現状・将来動向と課題

2 交通結節性における課題

札幌駅周辺の公共交通機関における乗換動線の現状課題を把握し、各交通モードの乗換動線について検討が必要です。

地下鉄・JR在来線・バス等の主要な交通機関を結ぶ経路においてバリアフリー化されているものの、段差等があり、メイン動線や、複数経路によるバリアフリー化が必要な状況。

■札幌駅の公共交通機関の乗換動線上の課題



札幌駅周辺の現状・将来動向と課題

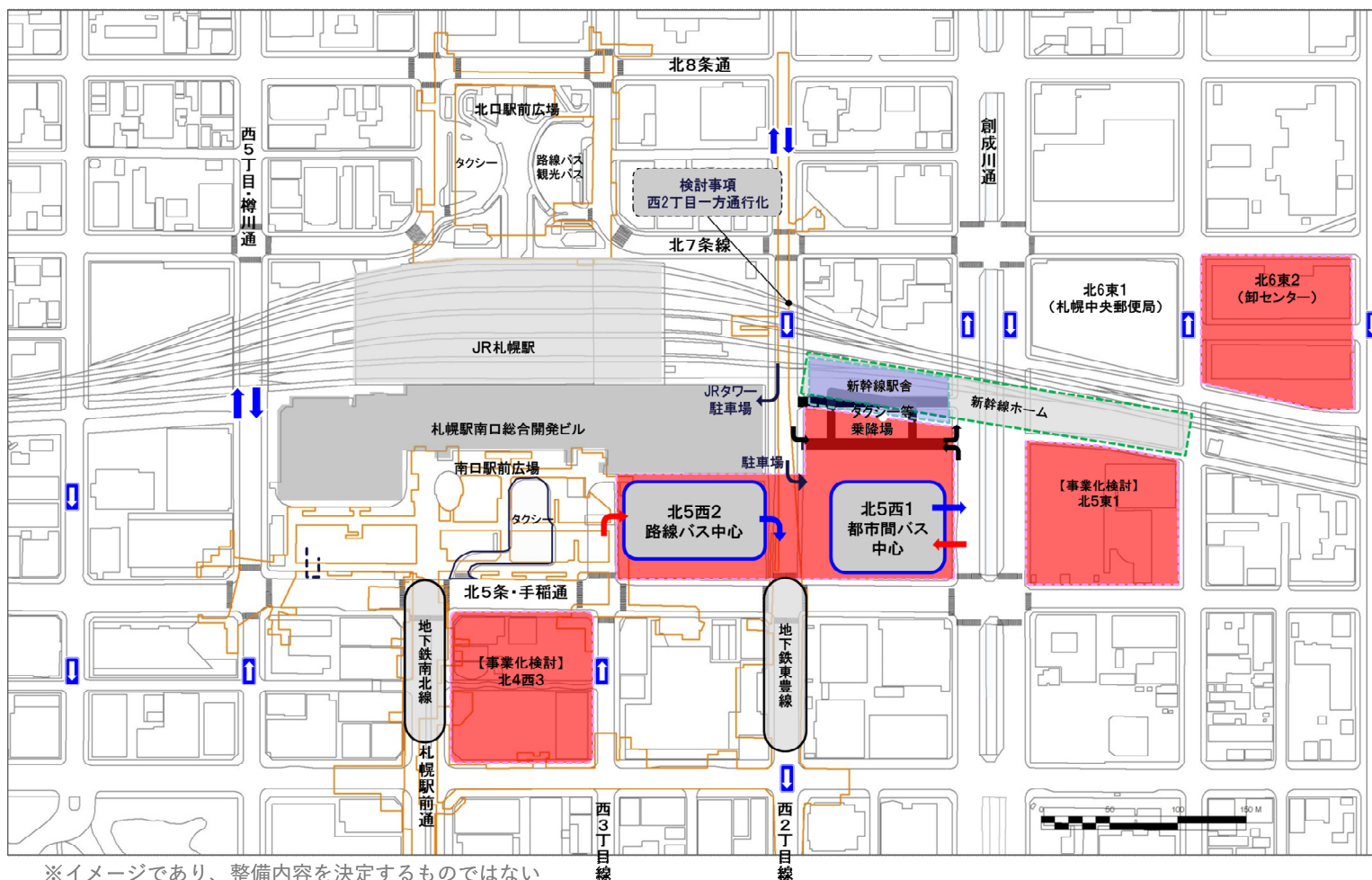
3 札幌駅周辺の開発を見据えた交通課題

札幌駅周辺の再開発・駅前広場の再整備計画を踏まえ、札幌駅周辺の交通円滑化が求められています。

札幌駅周辺の駐車待ちやバスの乗降による通行阻害、札幌駅前への通過交通流入による混雑が発生しており、現在事業化検討が進展している札幌駅周辺の再開発による発生交通や駅前広場の再整備も踏まえた面的なマネジメントが必要です。

■札幌駅周辺の再開発イメージ

■札幌駅周辺の混雑状況



※イメージであり、整備内容を決定するものではない

